

タクシー業界の取り組みについて

～今後新たにに取り組む事項について～

(注意事項)

- ▶ 本取り組みは、全国各地域の実情・実態に応じて、「出来る地域」「出来ることから」を基本に、タクシーの活性化及び需要喚起を目的に取り組むものです。

平成28年10月12日

一般社団法人 全国タクシー・ハイヤー連合会

1. 初乗り距離短縮運賃

[概要]

初乗り距離を短縮することによる初乗り運賃の引き下げを行うことにより、乗りやすいタクシーの実現へ(期待出来る効果)
・チョイ乗り需要の喚起(高齢者・若年層・訪日外国人等) ・既存のお客様も利用し易い体系

(例) 東京2km730円→1km400円台へ

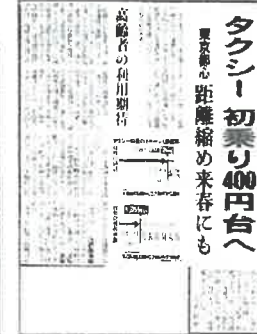
- 実証実験: 8月5日～9月中旬にかけて40台にて実施!!
- 開始時期: 早くても12月・遅くても平成29年4月に実現!!

初乗り1.0km410円
平成29年1月30日スタート

マスコミ報道例



H28.4.5朝日新聞(朝刊)



H28.4.5朝日新聞(朝刊)



H29.4.5東京新聞(夕刊)



H28.4.6日経新聞(朝刊)

1. 初乗り距離短縮運賃(名古屋交通圏の取り組み)

「中型車初乗1.264km・500円」「小型車初乗1.264km・480円」を「普通車初乗り1.05km・450円」に改定
《平成29年4月21日実施》※金額はいずれも上限運賃の例

国土交通省
国土交通省は、初乗り距離の短縮による乗客の利便性の向上を図るため、名古屋圏のタクシー運賃を改定する。改定は、平成29年4月21日より実施する。改定内容は、普通車初乗り1.05km・450円、小型車初乗り1.264km・480円、中型車初乗り1.264km・500円とする。改定は、乗客の利便性の向上を図るため、乗客の負担を軽減するものである。改定は、乗客の利便性の向上を図るため、乗客の負担を軽減するものである。改定は、乗客の利便性の向上を図るため、乗客の負担を軽減するものである。

1. 初乗り距離短縮運賃	1
2. 事前確定運賃	2
3. 相乗り運賃(タクシーシェア)	3
4. ダイナミックプライシング	4
5. 定期運賃(乗り放題)タクシー	5
6. ユニバーサルデザインタクシー(UD)タクシー	6
7. 相互レイティング	7
8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス	8
9. 乗合タクシー(交通不便地域対策・高齢者対応・観光型等)	9
10. 第2種免許緩和	10
11. タクシー全面広告	11

2.事前確定運賃

【概要】

配車予約時に依頼場所、目的地を提示いただき確定運賃情報を事前にお知らせする。

- ・乗車場所はGPSから現在地を取得
- ・目的地は地図上で指定
- ・メーターによらない運賃算出方法を新設

→ これにより事前運賃を割り出すことが可能。

【期待出来る効果】

- ・事前に運賃がわかることにより、安心感が産まれる。
- ・UBERでは事前確定は出来ていない。
- (おおよその運賃情報の提供はある模様)

メーターと事前確定運賃の 安い方で精算

(メーターも起動させお客様にとって
最も安い運賃で精算していただく。)



3.相乗り運賃(タクシーシェア)

【概要】

運賃は乗降地点によりシェア出来るシステムの構築

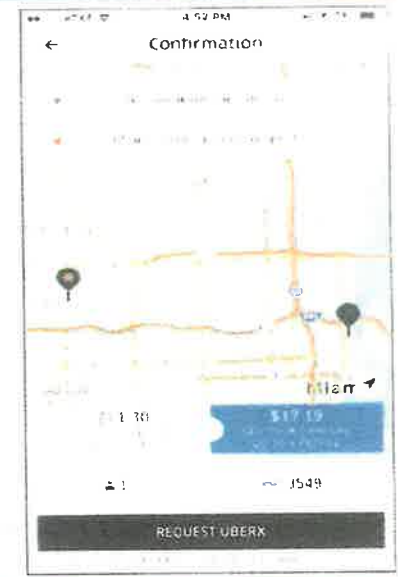
【期待出来る効果】

- ・実乗車部分の負担の精算が容易になり便利
- ・タクシーの需給が切迫している際相乗りによるマッチングが可能

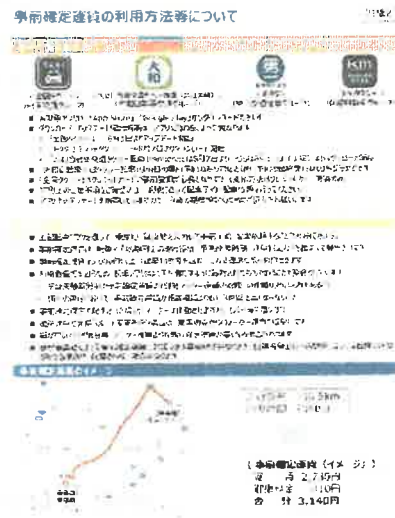
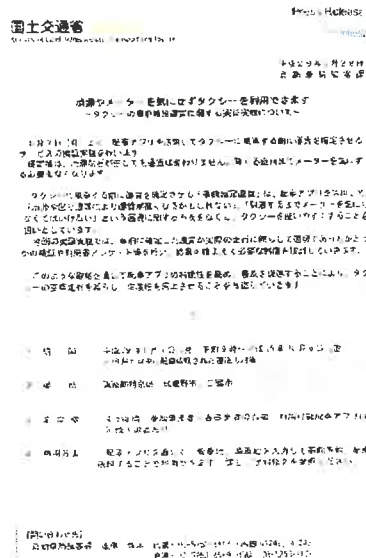
- 空港への相乗り
- 朝の通勤時間帯での相乗り
- 雨天時での相乗り

*カリフォルニアでは

UBER(uberpool(サービス名))の
売上の50%と言われている。



2.事前確定運賃(国土交通省の取り組み)



3.相乗り運賃(タクシーシェア) (国土交通省の取り組み)

国土交通省HPより(平成29年度当初予算)

3.相乗り運賃(タクシーシェア) (名古屋交通圏の取り組み)

事業概要 ICTを活用した新サービスの実現に向け、**制度設計のための実証実験等を実施**

背景・必要性

- タクシーの実車率を向上させ、低迷するタクシー需要を喚起するためには、利便性の高い配車アプリの普及が不可欠。

タクシースタックの現状(2016年9月)

実証実験・調査等の概要

- 配車アプリを活用し、
 - 配車時に運賃が確定する**運賃事前確定サービス**
 - 効率的で割安な運送を可能とする**相乗りサービスの実証実験等を行う**

効果

- 利用者の運賃に関する不安の払しょく・**利便性の向上**
- 運送の効率化による**生産性の向上**・利用者の**選択肢の増加**・割安な運賃でのサービス提供

【東京(特別区・武三)地区】相乗りタクシー実証実験概要(予定)

- 実施期間:平成30年1月下旬から3月中旬までの2か月間弱
- 主な実験内容
 - ①配車アプリ上で乗降車地設定者同士マッチング・相乗運送
 - ②事前確定運賃(迎車回送料金なし)とする
 - ③キャンセル料等を設定可能とする

名古屋地区においても
実験予定

4.ダイナミックプライシング

[概要]

繁忙時・閑散時によるタクシー運賃の流動的な体系。

[期待出来る効果]

閑散時においては、利便性の向上と需要増
繁忙時においては、營收の増加

通常運賃	混雑時	閑散時
初乗り 730円(2Km)	混雑状況 (雨天時、ラッシュ アワーetc)に応じて 運賃変動	閑散状況 (昼間etc)に応じて 運賃変動
	運賃の 10-50% 値上げ	運賃の 10-50% 割引



5.定期運賃(乗り放題)タクシー

[概要]

対象者・エリア・時間帯を限定した定期制度の導入を目指す。(各シーンに合わせた定期制度)

[期待出来る効果]

・ビジネスマン等のヘビーユーザーの更なる利用増及び定期利用による新たな顧客の獲得
・高齢者や子育て世代が運賃を気にすることなく、日常の足として「ドアtoドア」のタクシーの利用が可能になる

■ビジネスマン (9時～17時等)	■子育て世代 (9時～14時等)	■高齢者 (9時～14時等)
<p>千代田・港区・中央区などの ビジネス街での周遊 [経費精算業務の軽減]</p>	<p>自宅～保育園・幼稚園 ～買い物 3区間を周遊 [重い荷物からの開放]</p>	<p>自宅～病院～買い物 3区間を周遊 [ご家族への負担軽減]</p>

4.ダイナミックプライシング(国土交通省の取り組み)

国土交通省HPより(平成30年度予算概算要求)

- ドライバーの労働環境改善のため、新しいサービスの導入により利用者利便を向上させ、需要喚起を図るとともに、配車アプリを活用したタクシーの運行効率化により生産性向上を図る。

定額(乗り放題)タクシー	需要に応じた変動迎車料金
<p>□ 鉄道の定期券のように、対象者・エリア・時間帯を限定した定額タクシーの実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p> <p>高齢者の通院・買い物 ビジネス 子供の学校・塾等の送迎 通勤</p> <p>効果 割安にタクシーを利用できることによる 利便性向上・需要の喚起</p>	<p>□ タクシーを配車依頼した際にかかる迎車料金について、配車アプリ等を活用し、繁忙時間帯と閑散時間帯で変動する迎車料金の実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p> <p>¥ [変動迎車料金イメージ] [現在ある迎車料金設定例：定額]</p> <p>0 6 12 18 24 時間帯</p> <p>効果 繁忙時間帯の労働環境改善・ 納得感のある料金設定、利便性向上</p>

5.定期運賃(乗り放題)タクシー

国土交通省HPより(平成30年度予算概算要求)

- ドライバーの労働環境改善のため、新しいサービスの導入により利用者利便を向上させ、需要喚起を図るとともに、配車アプリを活用したタクシーの運行効率化により生産性向上を図る。

定額(乗り放題)タクシー	需要に応じた変動迎車料金
<p>□ 鉄道の定期券のように、対象者・エリア・時間帯を限定した定額タクシーの実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p> <p>高齢者の通院・買い物 ビジネス 子供の学校・塾等の送迎 通勤</p> <p>効果 割安にタクシーを利用できることによる 利便性向上・需要の喚起</p>	<p>□ タクシーを配車依頼した際にかかる迎車料金について、配車アプリ等を活用し、繁忙時間帯と閑散時間帯で変動する迎車料金の実証実験・調査を実施。制度化に向けた検討を行う。</p> <p>¥ [変動迎車料金イメージ] [現在ある迎車料金設定例：定額]</p> <p>0 6 12 18 24 時間帯</p> <p>効果 繁忙時間帯の労働環境改善・ 納得感のある料金設定、利便性向上</p>

6.ユニバーサルデザイン(UD)タクシー

[概要]

- ・車椅子のまま乗車出来る仕様
- ・トランク収容量も多い

[期待出来る効果]

通常のお客様だけでなく高齢者、障害者、訪日外国人等の方にも優しい。



・東京都では2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに

61億円の予算(10000台導入目標)をいただきました。

- ・国土交通省からも「地域公共交通確保維持改善事業員補助金」という形でご支援をいただいております。
- ・地域においても導入促進のためには、自治体や国の援助が必要不可欠かと思われます。

6

6.ユニバーサルデザイン(UD)タクシー(「国」及び「名古屋交通圏」の取り組み)

1. 名古屋交通圏内導入予定車両数(平成29年3月要望調査時点)

- 名古屋市内260台、名古屋市外16台
- 名古屋交通圏の車両数の20%をユニバーサルデザインタクシーにする(目標)

2. 平成29年度国土交通省「UDタクシー導入補助」※平成29年8月31日時点

- 国土交通省は予算の制約から補助要件を厳格にして全国の補助台数を制限(1台60万円) ※全国の補助台数(次頁)
- 全国の補助対象車両数(911台 * 1台60万円)
- 名古屋交通圏要望事業者1社1台配分=補助対象車両数(91台)
- 地域との連携枠(予算措置等)を設けて1社1台追加配分

3. 名古屋市の補助・予算確保について

- 名古屋市内(87台「内、個人タクシー2台」)
⇒名古屋市内は国土交通省の補助を要件に補助対象(平成29年度新規予算措置)
- 名古屋市内(87台)については、国(1台60万円)及び名古屋市(1台20万円)の補助対象となる
- 名古屋市外(4台)「清須市2台」「瀬戸市1台」「東郷町1台」については国単独補助(各社1台)
- 愛知県及び名古屋交通圏内各市町村の補助制度(予算確保)によりUDタクシーの導入促進(導入支援要望)

4. 平成30年度・国土交通省予算概算要求

- 自動車事故被害者の保護の増進等に向けた公共交通の利便性向上の促進

【要求額: 980百万円】

- ✓ 自動車事故被害者の日常生活支援等として、バス・タクシー事業者等の利用者利便向上のための車両購入等について補助する。
- ✓ 自動車事故被害者の利便性の向上を図るとともに、高齢運転者による事故の防止に向け公共交通の利用促進を図るために車両購入等を行うバス、タクシー事業者等に対する補助。

(参考)全国のユニバーサルデザイン(UD)タクシー導入補助

(平成29年8月31日時点)

都道府県	1) 国土交通省が実施している地域	2) 地方公共団体と連携した地域・地方自治体等が実施している地域	3) その他、国土交通省が実施していない地域	合計
北海道	1	1	0	2
青森県	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0
東京都	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0
新潟県	0	0	0	0
富山県	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0
福井県	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0
愛知県	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0
滋賀県	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0
兵庫県	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0
香川県	0	0	0	0
愛媛県	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0
佐賀県	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0
熊本県	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0
合計	1	1	0	2

- ① 名古屋交通圏補助要望事業者 1社1台配分
- ② 地域との連携枠(名古屋市予算措置) 1社1台配分
- ③ 15台以上導入事業者特別枠 1社1台配分

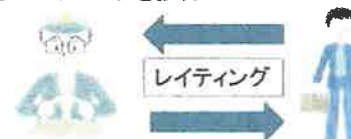
7.相互レーティング

[概要]

お客様から乗務員の評価をいただくことは勿論、乗務員もお客様の評価を行える。

[期待出来る効果]

お客様は乗務員の選択性の向上、サービスの向上
乗務員は不審なお客様を排除することが可能
双方のマッチングを強化



配車予約時にドライバーの
顔写真、名前、車種、
ナンバープレート・5段階評価
を知る事が出来る

アプリ内でドライバーからの自分の評価を
することも出来る



7

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス

[概要]

増加する訪日外国人等の富裕層の需要に対応するため、高級車両・一定水準の接客ができる乗務員によるサービスを充実。

[期待出来る効果]

- ・訪日外国人等の新しい需要の取り込み
- ・訪日外国人の日本滞在期間の快適度・満足度の向上

イメージ

- ハイグレード車両の提供
- 語学研修・接客研修を修了した乗務員の配備
- ICTを活用した配車予約・乗務員評価の実施
- Wi-Fi設備の配備
- 多言語対応タブレットの設置
- 専用乗り場（空港、鉄道駅）
- 付加価値に見合った運賃料金設定



[参考]

- ・平成28年3月観光ビジョン構想会議決定「明日の日本を支える観光ビジョン」及び平成28年4月新しいタクシーのあり方検討会とりまとめ「タクシー革新プラン2016」において「プライベートリムジン」の導入が提起されている。
- ・京都における訪日外国人向けタクシー「フォーリンフレンドリータクシー」の取組では、乗務員（外国語及び接客研修を受講）及び車両（大型スーツケースが2個以上搭載でき、各種クレジットカード及び交通系にカードが利用可能）の認定、専用乗り場の設置が行われている。

8

9. 乗合タクシー

[概要]

- ・乗合タクシーは、ワゴン型やセダン型のタクシー車両を使った乗合型の公共交通。
- ・主に、バスが運行できない過疎地域等において生活交通を確保するために運行されている、このほかに空港と周辺市町村を結ぶ空港型等もある。
- ・乗合タクシーには、バスのように定時・定路線で運行する路線定期型のほか、路線及び運行時刻は定めず事前予約による自宅から訪問先等の利用者の要望に応じてドア・ツー・ドア等で運行するデマンド型乗合タクシーもある。

[今後の取り組み]

- ・乗合タクシー事例集を活用して地方自治体への発信と連携の強化
- ・IT活用による効率化

[期待出来る効果]

- ・過疎地域等における生活交通の確保
- ・新しい需要の取り込み



9

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス(国土交通省)

国土交通省HPより(平成29年度当初予算)

①) インバウンド需要等に対応するための富裕層向けサービスの向上

事業概要 訪日外国人等をターゲットにした「プライベートリムジン」の全国展開に向け、規定基準策定のための調査等を実施

背景・必要性

- 訪日外国人数の増加・消費額の拡大を実現するため、特に富裕層向けサービスを充実させることが必要。
- 現在のリムジンサービスは都市部の法人向けが主であり、全国で個人が利用できるサービスが必要。

認定基準(イメージ)

- サービス基準 (ICTを活用した配車・運転手評価、Wi-Fi、語学・接客等)
- 安全評価基準 (安全性、事故防止の取組等)



「プライベートリムジン」(イメージ)

効果

訪日外国人の日本滞在期間の快適度・満足度の向上、国内における消費額の拡大。

8. 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス(名古屋交通圏)

- 既に一部の事業者では、セダン型&ワゴン型ハイグレード車両の導入を行っています。
- 名古屋市を中心としたエリアでは「リニア開業」「名古屋城天守閣木造建築」などにあわせて、富裕層の需要に拘ることのない観光タクシーの需要にお応えする各種取り組みを進めて参ります。
- また、名古屋市の観光関係では自治体の皆様方と連携した取り組みを進めるとともに、インバウンド対応に係るサービスの充実に取り組んで参る予定です。

9. 乗合タクシー(全国各地の導入事例)

名古屋タクシー協会ホームページ(TOP) <http://www.meitakyo.com/> で、全国各地の導入事例を紹介しています(ダウンロードできます)。



- 名古屋タクシー協会では、地域の交通事情・タクシー事業者・事業所・配置車両などに応じた「タクシー車両を活用した公共交通の提案」が可能です。
- タクシー事業者(事業所)が域内にいない市町村の皆様にもご提案できます。
- タクシーの活用事例をご確認いただくとともにタクシーによる地域交通をご検討願います。

10. 第2種免許緩和

[概要]

- テレマティクス活用による常時運行管理
- 個々の運転情報のフィードバック強化による安全面の向上

[第2種免許取得資格]

■年齢: 21歳→19歳 ■経験: 3年→1年

→ICTを活用することにより安全面を強化し、第2種免許取得緩和を目指します。

[期待出来る効果]

若年層・女性ドライバーが増加

新卒ドライバー



女性ドライバー・経営者・国土交通大臣との懇談会



⇒政府が進める「規制改革推進会議」では第2種免許の受験要件(受験年齢の引き下げ)緩和に向けた実験が予定されています。

10

11. タクシー全面広告

[概要]

地域によって、車体への広告掲載場所が制限されています。(特に東京では4つドア・屋上のみ)

[期待出来る効果]

・広告収入による、タクシー経営基盤の安定化。

東京の現状

4つドア・屋上のみ



緩和案

都内で運行が認められなかったアニメイラストを施したタクシーや外国での全面ラッピングタクシー



11



2018年(平成30年) 11月9日 金曜日

発行所 中部経済新聞社 千450-8561 名古屋市中村区 名駅1-4-10 高集局 052(561)5212 表紙印刷 052(561)5216 広告部 052(561)5213 編集部 052(561)5675 総務部 052(561)5215 東京支社 03(3572)5601 中部経済新聞社2018 ホームページ www.chuket-news.co.jp

乗車マナー向上へPR強化

4面 尾張・知多 オリエンタル、大豆粉カレールウ発売 健康志向と地産地消アピール
7面 医療・介護 名古屋大学、予防医療研究に力 医工連携・産学官連携で

2面 増益純利益増 ~9月期決算まとめ
3面 刷新 性高めデザイン一新



名古屋のタクシー業界

名古屋のタクシー業界が、利用客の乗車マナー向上に向けたPRの強化に乗り出した。名古屋タクシー協会はホームページ上で適切な利用を呼び掛け、タクシー会社では利用客の指定場所に到着後、一定時間を経過するとメーターをセットする仕組みの周知を徹底。一定の条件下でキャンセル料が発生する配車サービスも始まった。タクシー業界は機嫌的な人手不足。マナーの悪い客への対策が、タクシーの効率運行に欠かせなくなってきたようだ。(山田悠)

産業界

~東海の現場から~

複数社に予約、長時間の待機

キャンセル料請求も



複数社に予約、長時間の待機。キャンセル料請求も。タクシー業界は機嫌的な人手不足。マナーの悪い客への対策が、タクシーの効率運行に欠かせなくなってきた。乗車後のキャンセル料請求も発生している。

利用客の乗車マナー向上が、タクシーの効率的な運行につながる。タクシー業界は、人手不足が顕著だ。政府が進める働き方改革もあり、タクシー会社がドライバーの生産性を高めるためには、効率的な運行が欠かせない。キャンセル料や大幅な待機時間は、収益悪化要因になる。これから繁忙期の12月を迎える。忘年会などで飲食店にタクシーを呼んで、待たせるケースも増えると思われる。スマホのアプリによる配車サービスで、利用客は気軽にタクシーを呼べるようになったが、その一方で、乗車マナーへの意識を高めることが求められている。

タクシーホールディングスでは10月から、名古屋市内を走るタクシーの車内にステッカーの掲示を始めた。指定期間から5分経過するとメーターをセットする内容。ただ、厳密に適用するかはその時の状況による。同社は「正直に1時間待つドライバーもいる。人手不足のなか、効率的な運用は欠かせない」と話し、利用客に乗車方法を再確認してもうかがった。配車後のキャンセル料に課金する配車サービスも登場している。具体的には、配車時に現金やカードを用意する必要で、降車客は気軽にタクシーを呼べるようになったが、その一方で、乗車マナーへの意識を高めることが求められている。